

マハー・ヴァイローチャナ
Mahā Vairocana vol.83

検索しても出ない答えがここにある

高野山大学

KOYASAN UNIVERSITY

www.koyasan-u.ac.jp

教育学科の設置が認可される 令和3年度から開設！



河内長野キャンパス 中庭

本学が申請しておりました文学部教育学科の設置について、令和2年10月23日に正式に認可されました。新型コロナウイルスの影響で、審査が2カ月も遅れたため心配していましたが、これでスタートラインにつくことができました。

しかし認可と同時に始まった学生募集は非常に大変です。高校では9月に志望校を決定し、受験を終えてすでに合否結果が出ている学校も多く、推薦試験での受験先もほぼ決定しているようです。1月からの一般入試でどの程度の受験者があるかが勝負になります。皆様、周辺の方に「高野山大学に教育学科ができた」と、ぜひ宣伝をお願いします。

新しい教育学科では、小学校教諭免許(二種)、幼

稚園教諭免許(二種)、保育士資格、高野山真言宗僧侶資格などが取得可能になります。また果樹園や乗馬クラブ、里山保全、まちづくり会、文化ホールなど地域の様々な団体と連携して、丸1日使って体験学習を行い、そうした体験の積み重ねで、人間力や教師力を育みます。その他、4学期制の採用や「高野山国際ガイド体験」「高野山大学特任マイスター制度」など、教員養成系大学として全国で初めての斬新なカリキュラムとなつていきます。職支援センターでは採用試験対策を1年次から行い、教師になる夢を全力でサポートします。

キャンパスは、旧高野街道の宿場町、大阪府河内長野市の大阪千代田短期大学と共用します。丘の上の明るく美しい学舎です。教育学科の内容や入試の詳しい情報は、本学HPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



河内長野キャンパス 吹き抜けロビー

学長報告



高野山大学 学長
乾 龍仁

教育学科の設置が決定する

去る10月22日に本学の教育学科の設置認可申請に対して、大学設置・学校法人審議会から判定を可とする旨の答申が提出され、翌日10月23日に文部科学大臣により正式に認可されました。これにより、今年4月より大阪府河内長野市に同学科を新たに開設することが決定しました。キャンパスは主に河内長野キャンパス(大阪千代田短期大学と共同使用)を使用し、本館のある高野山キャンパスも併用していく予定です。

したがって、文学部は密教学科(定員30名)と教育学科(定員50名)の2学科体制となります。これにともない、現在の人間学科(定員20名)を教育学科に改組し、人間学科は4月より学生募集を停止します。ただし、3年次編入生の受け入れは2年間継続し、また在学学生が卒業する令和6年3月までは同学科の必要科目を開講して、教育内容に不足がないように務めますので、ご心配ございません。

なお、難波サテライト教室で開講している心理ケアコースは、人間学科を閉鎖する同6年4月から密教学科内に移して、真言宗の僧侶や密教学を学ぶ学生のための学修領域として展開していきます。これによつて、スピリチュアルケア師臨床宗教師の資格や認定心理士の資格も引き続いて難波サテライトで取得できる道を確保していく予定です。もちろん、これらの資格を取得しようと思う教育学科の学生も受講は可能です。

皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

持続可能な社会に向けた連携協定 東京大学先端科学技術センターと

令和2年9月4日、本学は高野町、高野山真言宗総本山金剛峯寺とともに東京大学先端科学技術研究センター（先端研）と高野山の魅力創出、持続可能な社会の実現に向けた連携協定を結びました。

先端研は、平成31年3月に和歌山県と包括連携協定を締結。今回の協定は、和歌山県との連携を深めてきた先端研が高野山の精神文化と先端研のもつ先端技術やアートの融合による新しい研究分野の進展と持続的なインクルーシブ（包括的）社会の創造を目指し、学術の振興、人材の育成、産業の発展と活力ある個性豊かな地域づくりに資することを目的に、高野町・金剛峯寺と先端研、本学と先端研の間で締結されました。

金剛峯寺新別殿で行われた調印式には神崎亮平所長、平野嘉也町長、添田隆昭宗務総長、乾龍仁学長が出席し、高野紙でできた協定書に署名しました。また、先端研の客員研究員で、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの近藤薫さんがJ.S.バッハ作曲、無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータから「シャコンヌ」の奉納演奏を行い、楽譜を奉納しました。

乾学長は「今後は先端研との学術交流を通じて、1200年にわたって高野山で育まれてきた精神文化、とくに弘

法大師の教えや密教思想に科学的メスを入れ、それらが人類社会の現代および未来において極めて有効性をもつものであることを証明していきたいと考えております。アインシュタインの言葉に『宗教なき科学は不完全であり、科学なき宗教にも欠陥がある』とあるように、宗教と科学の共存協力こそが、これからの人類にとつての重要なテーマになるものと信じております」と協定締結への思いを語りました。

先端研と高野町、金剛峯寺、本学は今後、連携して地元の活性化、大学間、地域訪問による交流、精神涵養（かんじよう）のための場の提供など、未来を見据えた持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。



神崎所長(左)と乾学長

令和2年度 宗教教育行事

本学では、僧侶になる学生の得度から伝法灌頂の儀式、また毎月21日の報恩日や毎日の朝礼、追悼法会と年間を通じて宗教行事を行っています。今年度は新型コロナウイルス等の影響でさまざまな変更がありました。多くの行事を行いました。

集団得度式

令和2年7月2日、総本山金剛峯寺座主・高野山真言宗管長 葛西光義猊下を戒師にお迎えし、高野山学園集団得度式を執り行いました。本年は日程の延期やソーシャルスタンス確保の為、道場を大師教会本部の大講堂に変更するなど例年と違った得度式となりましたが、得度式2週間前からの検温実施や事前に受者に丁子を配布し、当日自宅で丁子湯に入っていたりなどの対策を経て開壇することができました。

受者は本山内局や引率の大学・高校の教職員に見守られる中剃髪し、戒師より如法衣を授かりました。また本年は新型コロナウイルス対策として、お師僧様、保護者様の参列をご遠慮いただくこととなり、誠に申し訳ございませんでした。

今年度の受者は12名（1回生3名、2回生1名、3回生3名、大学院生2名、別科生2名、通信生1名）でした。



受戒

7月13日から15日まで、本学大菩提院道場において高野山総持院 宮田永明大阿闍梨を戒師にお迎えし、受戒を開壇しました。受者は仏名会を修し、戒師より戒を授かりました。

本年は学園得度式の延期により、得度後の受戒入壇を希望していた学生諸氏が6月に行われた本山主催の受戒に入壇できなくなりました。ため、急遽大菩提院道場での開壇となりました。

今年度の受者は10名（1回生3名、2回生1名、3回生2名、大学院生2名、別科生1名、通信生1名）でした。

夏季集団加行

8月18日から10月6日まで、真別処円通律寺道場において、真別処和上 添田隆昭大阿闍梨に伝授阿闍梨をお勤めいただき、夏季集団加行を行いました。今季の行者は前期2名（2回生1名、3回生1名）のみとなり、人数が少ない中お互いに協力しながら無事に結願を迎えました。

伝法灌頂

11月2日、高野山寶壽院道場において伝法灌頂が開壇されました。

酒井道淳法印御房に伝授阿闍梨をお勤めいただき、真別処円通律寺、専修学院尼僧部で四度加行を成満した学生が入壇いたしました。

今年度の入壇者は4名（4回生2名、大学院生2名）でした。

法流を次の時代へー密教の事相



高野山大学 密教学科 教授
佐藤 隆彦

私が一貫して取り組み研究しているのは密教の事相です。私が在学中の高野山大学では、中川善教先生、高見寛恭先生、高田仁覚先生が事相関係の講義を開講されていました。大学院で指導いただいたのは松長有慶先生です。

大学院を修了してから2年間比叡山において天台密教を学びました。台密の加行は比叡山行院で小林栄茂院長にしたがって法曼流で成満しました。伝法灌頂は武覚圓大阿にしがって三昧流にて入壇しました。武大阿は叡山学院の院長をおつとめになられ、三昧流、法曼流、穴太流、西山流、葉上流の所作の違いを教えてください、ご自身が使用されていた書き込み本を記念品として賜りました。武先生からは光明供根本印の伝法も授けていただきました。その後、高野山大学に就職しましたが、比叡山の学びは大変大きな影響を私に与えてくれました。

次に真言宗の法流の受法についてお

話します。上田霊城大阿からは、新安流、古安流を皆伝し、西院流、三宝院流を受法させていただきました。加藤雄大阿からは、勸修寺流、随心院流、三宝院流を、高見寛恭大阿からは、保寿院流、忍辱山流、御流神道、能作性如意宝珠等の伝授を受けました。大山公淳大阿からは子嶋流を、中川善教大阿、中西啓寶大阿、吉田寛如大阿、三井英光大阿からは中院流を、竹内崇峯大阿からは持明院流を受法しました。南波義範大阿からは伝法院流と東密諸法流総許可を受けました。その他、藤原良典大阿、東野学明大阿、山本隆弘大阿、稲谷祐宣大阿、永田覚範大阿をはじめとする諸阿闍梨から法流を受法しました。

私の責任はこれら受法した法流を次の時代にしっかり伝えていくことだと思っております。それとともに、これらの法流に近代的な学問的方法で光をあてて再検討することも必要だと思っております。その場合、江戸時代の浄厳和尚の取り組みが大変参考になります。尚の取り組みが大変参考になります。安流と浄厳和尚を中心に据え、幅広く事相をとらえたいと考えています。さらに、今の時代に密教の事相をいかに活かすかということに常に模索しています。これが私の学問の取り組みです。

社会システム論から空海の教育思想へ



高野山大学特任教授
山田 正行

主に生涯学習、社会教育、平和教育を学習・教育発達のインタラクティブに即して研究しています。その基盤を学部段階から述べると、社会学を専攻し社会の生成的な変化と人間の意識的な変革を統合的に認識すべく社会システム論と主体形成論を比較考察しました。院生・助手の時は、この変化・

変革のダイナミクスに観点を据えて漸成的発達論をもって社会教育における学習論の発展を目指し、企業内教育と自主管理、職場の自律的作業小集団の学習サークルにアプローチしました。また、現象学の相互主観／主体性や社会心理学のグループダイナミクスに学び、研究者と実践者のコミュニケーションタイプなアクション・リサーチを方法論として、ジョン・デューイの経験の「再構成」論を日本で展開した東大社会教育学講座の初代主任教授宮原誠一の「最も実践的な末端」からの「再分肢」教育を研究しました。

転任先の秋田大学では、地方都市や

農村の社会教育、公民館の全国的展開で中心的役割を果たした鈴木健次郎を通して良寛や『葉隠』の精神を融合・応用した下村湖人の「白鳥蘆花に入る」や「煙仲間」などに込められた自我を統御し他者を伸ばす実践倫理を教えられました。また卒業研究をナチの教育にしたいという寡黙な学生に当惑しましたが、対話を通して戦争と教育の問題の研究だと分かり、これに啓発されて世界遺産たるアウシュヴィッツを学び伝える博物館活動のアクション・リサーチを進め、ポランドから勲爵十字勲章を授与されました。

大阪教育大学に転任すると京都学派の西田幾多郎や三木清の生成的なゲネシスと意識的なポイエシスの弁証法と宮原の形成と教育の関連性(具体的には三木と宮原の「文化政策」等)を研究しました。また盛田嘉徳の日本思想史、文化史、芸能史、地域史、民俗学、民族学、国語国文学、それらを踏まえた同時代の同和教育実践にも取り組んでいます。

そして以上に基づき高野山大学に身を置く者として空海の教育思想を学際的に研究し、その現代的意義を導き出すことに努めています(その一端は近刊共著で)。

密教流伝ルートの研究



高野山大学 密教学科 教授
松長 潤慶

オランダのライデン大学や各博物館に所属する海外研究協力員が参画しており、様々な方面からの学際的なアプローチを実施し、密教流伝ルートに関する研究を進めています。

この研究では、海洋交易路の重要な中継地域であるインドネシア諸島で出土した密教遺品を研究対象の中心とし、従来の文献資料を用いた密教図像学に基づく研究のみならず、奈良国立博物館の協力を得て、蛍光エックス線機器による金銅仏像の金属成分分析を実施しました。今後は、これまで集積したデータを基礎資料とし、さらにインド諸地域で出土している金銅仏の金属成分分析を実施し、インド諸地域と海洋地域の遺品の比較考察を行い、海洋交易路を通じて東遷した『金剛頂経』系密教の性格、および密教流伝ルートの解明を行うべく予定しています。

インドに興った密教は、陸・海の交易路を経由して東アジア全域に東遷し、中国を経由して9世紀初頭に弘法大師空海により日本にもたらされました。空海が我が国にもたらした密教は、『大日経』『金剛頂経』を中心とするインド中期密教ですが、それらの流伝ルートは未だ明らかにされたとはいえないでしょう。特に、海洋交易ルートを介して伝播したと考えられる『金剛頂経』系密教の流伝ルートの解明は不十分であると言わざるを得ません。これらの点を解明するため、科研事業における海外学術研究として、基盤研究(B)「海洋交易路における仏教流伝形態の研究」(課題番号17H04517)を現在実施中であり、徐々に『金剛頂経』系密教の流伝ルートが明らかになってきています。この事業では、高野山大学、種智院大学、駒澤大学、奈良国立博物館などの国内の研究員のみならず、インドネシア大学、インドネシア考古学局、インドネシア全地域の博物館、また



『サマーヨーガタントラ』
金剛薩埵族曼荼羅の尊格



金剛界大日如来(4面)
曼荼羅の中尊

文観の「印信」



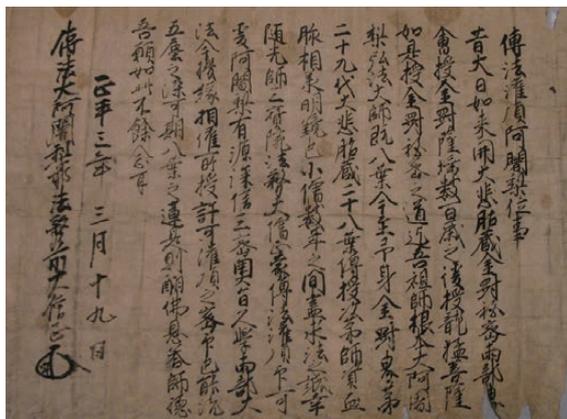
高野山大学 人間学科
専任講師
坂口 太郎

ここ数年、私は、山内の西南院で、和田友伸師のご理解とご協力のもと、文書調査を行なっています。調査を進める中で、ときおり貴重な価値を持つ史料に出会うことがあります。その1つが、昨年11月、毎日新聞の紙上で取り上げていただいた、文観房弘真(1278~1357)の「印信」です。文観は、南北朝時代の真言僧であり、南朝の後醍醐・後村上両天皇に仕えたことで知られています。

この「印信」は、正平3年(三四八)3月18日に、文観が有源という僧侶に許可灌頂を伝授した際に、授けたものです。有源がどのような人物かは分かりませんが、おそらく高野山に属した僧であつたと考えられます。かつて文観は、高野山から敵視されていましたが、晩年になると、南朝の意向を受けて高野山と密接な関係を結んでいた形跡があります。この「印信」は、文観および南朝と高野山との政治的関係を考える上で、とても興味深い史料です。

また、中世の真言僧が作成した「印信」は、実物があまり残っておらず、その意味でも、文観の「印信」は貴重です。「印信」は全14行で、末尾の2行が文観の自筆です。その雄渾な筆跡を熟視すると、激動の時代を生き抜いた文観の個性が、まざまざと立ち現れるような気がしてなりません。

なお、文観は、古くから立川流に結び付けられ、破戒僧のイメージで語られてきました。しかし、近年の研究によつて、文観の実像は、それとかなり異なることが明らかになりました。この「印信」以外にも、文観について信頼に足る史料が、高野山の諸寺院に多数伝わっています。



学位記授与式

第93回学位記授与式が9月18日、本学第二会議室で行われました。大学院修士課程（通信教育課程）2名と学部生3名が乾龍仁学長から学位記を授与されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため規模を縮小し、出席者は卒業生と教職員のみ、マスクを着用しての授与式となりました。

例年のようににぎやかな祝賀会を開くことはできませんでしたが、卒業生と先生方に懇談の時間が設けられ、思い出話に花を咲かせました。



難波サテライト教室 オープンキャンパス

10月18日、難波サテライト教室では、今年度初めてのオープンキャンパスを開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、参加者が自宅等から気軽に参加できるZoomを利用したの実施となりました。WEB中心であったにも関わらず40名を超える社会人の方々に参加いただきました。

密教育学科、人間学科心理ケアコースの紹介、模擬講義、個別相談会もWEBで行いましたが、参加者からは「自宅から参加できてよかった」、「もっとWEBを活用したイベントを増やしてほしい」、「遠隔地から模擬講義を体験できよかった」等々のお声をいただきました。次回以降のオープンキャンパスではさらに魅力ある内容していきます。

※次回は、1月17日、2月7日を予定しております。



講演会を動画で配信します 第15回高野山大学フジキン 小川修平記念講座講演会

今年度の第15回高野山大学フジキン小川修平記念講座講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会場での講演会に代わり、本学ホームページで講演会の配信を行います。

【第15回高野山大学フジキン 小川修平記念講座講演会】

「存在とコトバの深秘学」

—井筒俊彦の空海論—

高木神元（高野山大学名誉教授）

「宗教と科学—仏教の視点から—」

竹村牧男（東洋大学前学長）

「星の最期とその後」

川中宣太（京都大学特定准教授）

教育学科設置記念シンポジウム

教育学科の設置を記念したシンポジウムを11月14日、河内長野市立文化会館（ラブリールホール）で開催しました。

基調講演は「今、学校教育に問われているもの」の演題で大阪市立大空小学校元校長の木村泰子氏が登壇し、パネルディスカッションは木村氏、元文部科学省大学設置審議会委員の帯野久美子氏、大阪大学大学院教授の岡部美香氏をパネリストに迎え、「現在の教育課題と高野山大学の使命」をテーマに意見を交換しました。

木村氏が大空小学校で向き合った子どもたちと教員、地域住民らのつながりと

心の成長、そしてパネリストの皆さんの子どもたちと社会、教育へ向けた思いを、参加した120名が熱心に聴講しました。

在大阪・神戸インド総領事 特別講演会

11月26日、本学第三会議室において、Bシヤム在大阪神戸インド総領事による特別講演会「BRテンペードカル博士とインド憲法の成立」が開かれました。この講演会は本学キャンパスに、インド憲法の起草に主導的な役割を果たしたアンベードカル博士の銅像があることにちなみ、インドの憲法記念日に当たるこの日に実現したものです。

講演では、インド憲法の成立に至る歴史的・社会的背景、同憲法の概要と特色、制定過程、根底に流れる精神などが、日本国憲法との比較も交えて分かりやすく語られ、学生・教職員をはじめとする参加者に大きな感銘を与えました。

この場を借りまして、有意義な学びの場を提供してくださった在大阪・神戸インド総領事館と和歌山県に深く感謝します。



なんばから徒歩3分の高野山

高野山大学 難波サテライト教室

社会人編入 密教学科 人間学科 心理ケアコース

WEBオープンキャンパス 1月17日

公開講座 第6回「生老病死のスピリチュアルケア」2月7日

入試日程

文学部 密教学科・人間学科心理ケアコース
社会人編入学試験(難波サテライト教室)

後期

出願期間 2021年2/15(月)～3/5(金)※必着

試験日 2021年3/13(土)

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

1. 高野山大学公式ホームページの「大学案内」「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申し込みください。
2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

【注意事項】

1. 講演料(手取り額)
60分 ¥20,000
90分 ¥30,000
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。

<http://www.koyasan-u.ac.jp/info/dispatch>



こちらのQRコードからもアクセスできます。>>

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

- 頂戴いたしました寄付金は
- 大学の設備・備品費などの諸経費
 - 地域との連携事業の経費
 - 学習・就職支援室の活動費
- などに用させていただきます。

高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。

皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援をこころよりお願い申し上げます。

この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。

ご連絡をいただきました方には、大学から、
○寄付申込書 ○寄付金用振替用紙 ○返信用封筒
をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。

皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】

同窓会報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

2021年度 入学試験日程

密教学科・人間学科 ※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

入試種別	出願期間	試験日
一般選抜入試(前期)	2021年 1/7(木)～1/25(月)消印有効	2/5(金)
一般選抜入試(後期)	2021年 2/15(月)～3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	3/13(土)
社会人入試	2021年 1/7(木)～1/25(月)消印有効	2/5(金)
留学生・留学生編入学入試Ⅱ期	2021年 1/7(木)～1/25(月)消印有効	2/12(金)

密教学科・人間学科(編入学)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

入試種別	出願期間	試験日
3年編入社会人編入(後期)	2021年 2/15(月)～3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	本学 3/13(土) 難波サテライト3/13(土)

教育学科

入試種別	出願期間	試験日
学校推薦型選抜入試(指定・併設・公募)	2021年 1/7(木)～1/15(金)消印有効	1/23(土)
一般選抜入試(前期)	2021年 1/7(木)～1/25(月)消印有効	2/7(日)
総合型選抜入試Ⅱ期	2021年 2/1(月)～2/12(金)消印有効	2/27(土)
一般選抜入試(中期)	2021年 2/15(月)～3/5(金)消印有効	3/13(土)
一般選抜入試(後期)	2021年 3/1(月)～3/9(火)消印有効	3/17(水)

別科

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

入試種別	出願期間	試験日
Ⅱ期	2021年 2/15(月)～3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	3/13(土)